

## 学校教育計画

### 4年間の目標と主な方策（令和2年度～令和5年度）

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	「活かせる学力」の育成  多様な学びの場の提供	○「主体的・対話的・深い学び」により基礎学力を育成する授業を実践するとともに、オンライン授業の取組を深化させ、補習等に生かしていく。 ○大学入試改革に向けて、教育課程の充実・改善を図る。 ○通級指導を通じ、主体性と社会性を養う。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	豊かな人間性・社会性を備えた人づくり	○全職員が学校行事や部活動の意義を理解・共有し、より多くの生徒が参加できるよう工夫する意識を持つ。 ○SC、SSWや外部機関と連携し、きめ細かな生徒指導・支援に取り組む。
3	進路指導・支援	進路発見と進路実現	○インターンシップや進路講演会等を通じて職業理解を深め、広い視点から進路を考える指導を行う。 ○より適切な第一志望の選択能力を育成し、本来の進路希望を実現できる指導に努める。
4	地域等との協働	地域教育力を活用した学校づくり	○学校運営協議会、高大連携コンソーシアム事業等を通じ、地域や近隣中学校、大学等と協働した教育活動を行う。 ○地域の行事や防災活動などに生徒が積極的に参加できるよう取り組む。
5	学校管理 学校運営	教育環境の整備と「働き方改革」の推進  事故・不祥事ゼロの取組	○不測の事態に備えた対応を日頃から意識して実践するとともに、保護者への速やかな情報提供をあわせて行う。 ○学校閉庁日を設け、職員の「働き方改革」を推進する。 ○各グループが主体となった事故・不祥事防止研修を1回ずつ開催する。